

アルカリ電子機能水・アデン水 取扱説明書

- ・当商品は「アルカリ電子機能水」と称し、通称「アデン水」と称します。
- ・当品は、JWSテクニカ社製のアルカリ電子機能水の生成機シリーズを使用し生成したアルカリ電子機能水です。
- ・アルカリ濃度は通常pH13.0～(ORP-950mv)です。(この表示については発送時に表示致しますのでご確認下さい。)
- ・アルカリ電子機能水は、純水と炭酸カリウムを電解質として使用しております。
- ・当品は主に「農業用」に生成製造しておりますので、農業外の利用時は販売会社にご相談下さい。(各分野に幅広くご利用頂けます。)
- ・アデン水の使用方法、分量等は農作物によって少々の差はありますが、それ程の大差は有りません。

例)新潟県における「ラッキョウ」の栽培使用量及び時期等

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	計	圃場面積
① 10a辺り	(L)	(L)	(L)	(L)	(L)	(L)	(L)	(L)	(L)	(L)	(L)	(L)	圃場面積: 10aの場合 総散布回数: 30回 年間使用料: 90L(4.5箱)
② 希釈倍率	50	200	200	200				200	200	200	200		
③ 1回散布量	500	500	500	500				500	500	500	500		
④ 原液使用量	10	2.5	2.5	2.5				2.5	2.5	2.5	2.5		
⑤ 散布回数	2	4	4	4				4	4	4	4	30	
⑥ 総使用量	20	10	10	10				10	10	10	10	90	

表の見方(8月の場合)

アデン水原液10L【④】を50倍に希釈(水に薄める)【②】し、500L【③】の溶液を作成。
作成した溶液を、農地10a辺り【①】に2回/月【⑤】散布します。
月の原液使用量合計は20L【⑥】となります。

- ・アデン水は多量に使用しても害にはなりませんので、葉面散布の時期(幼芽から)、回数は多くても問題ありません。
- ・アデン水を使用し、害虫が発生した場合は販売店に直ぐにお知らせ下さい。対処方法をお知らせします。